

科目名	スタイリストワークII				
担当教員	大澤 清孝		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションスタイリスト科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	5	時間数	100時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1. 企業とのコラボ企画2本柱を基に企業と連携した授業で広告・スタイリングを学ぶ 2. スタイリングを活かしたショー企画を作成しファッションショー形式での発表を行う 3. 卒業制作に向けたショーのプランニングを学ぶ				
学習目標 (到達目標)	一年次で得た知識に磨きをかけ、クリエイティブなプランニング、企業向けに自分をアピールする作品作り。最新のスタイリングを学ぶ。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	美少女図鑑企画書制作/ピアンベール撮影企画書作成/ショー企画作成		企業連携 美少女図鑑企画書/ピアンベール企画書の作成とファッションショー企画書作成		
2	美少女図鑑企画書制作/ピアンベール撮影企画書作成/ショー企画作成		企業連携 美少女図鑑企画書/ピアンベール企画書の作成とファッションショー企画書作成		
3	美少女図鑑企画書制作/ピアンベール撮影企画書作成/ショー企画作成		企業連携 美少女図鑑企画書/ピアンベール企画書の作成とファッションショー企画書作成		
4	美少女図鑑企画書制作/ピアンベール撮影企画書作成/ショー企画作成		企業連携 美少女図鑑企画書/ピアンベール企画書の作成とファッションショー企画書作成		
5	美少女図鑑企画書制作/ピアンベール撮影企画書作成/ショー企画作成		企業連携 美少女図鑑企画書/ピアンベール企画書の作成とファッションショー企画書作成		
6	美少女図鑑企画書制作/ピアンベール撮影企画書作成/ショー企画作成		企業連携 美少女図鑑企画書/ピアンベール企画書の作成とファッションショー企画書作成		
7	美少女図鑑企画書制作/ピアンベール撮影企画書作成/ショー企画作成		企業連携 美少女図鑑企画書/ピアンベール企画書の作成とファッションショー企画書作成		
8	美少女図鑑企画書制作/ピアンベール撮影企画書作成/ショー企画作成		企業連携 美少女図鑑企画書/ピアンベール企画書の作成とファッションショー企画書作成		
9	ピアンベール衣装・撮影		ピアンベールの衣装をスタイリングし広告写真撮影		
10	ピアンベール衣装・撮影		ピアンベールの衣装をスタイリングし広告写真撮影		
11	ピアンベール衣装・撮影		ピアンベールの衣装をスタイリングし広告写真撮影		
12	ファッションショー企画 フィットティング/美少女図鑑スタイリング組み		ファッションショー企画のコーディネート組み		
13	ファッションショー企画 フィットティング/美少女図鑑スタイリング組み		ファッションショー企画のコーディネート組み		
14	スタイリング修正		ファッションショー企画のコーディネート組み		
15	ムービーメーカーを使用した動画制作課題広告作成		動画広告スタイリングを作成 企画書		
16	ムービーメーカーを使用した動画制作課題広告作成		動画広告スタイリングを作成 企画書		
17	ムービーメーカーを使用した動画制作課題広告作成		動画広告スタイリングを作成 企画書		
18	ムービーメーカーを使用した動画制作課題広告作成		動画広告スタイリングを作成 撮影		
19	卒業制作に向けたファッションショーの企画書作成の方法		様々なショーになるモチーフを選び発想する方法		
20	卒業制作に向けたファッションショーの企画書作成の方法		ショーの企画書作成・夏休み課題		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題90%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			課題評価を行う。スタイリング力、企画力を養う		
実務経験教員の経歴		スタイリスト歴15年			

科目名	スタイリストワークII				
担当教員	大澤 清孝		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションスタイリスト科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	5	時間数	100時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1. 企業とのコラボ企画2本柱を基に企業と連携した授業で広告・スタイリングを学ぶ 2. スタイリングを活かしたショー企画を作成しファッションショー形式での発表を行う 3. 卒業制作に向けたショーのプランニングを学ぶ				
学習目標 (到達目標)	一年次で得た知識に磨きをかけ、クリエイティブなプランニング、企業向けに自分をアピールする作品作り。最新のスタイリングを学ぶ。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ショー企画について説明		ショーの企画・全体について説明		
2	ショー企画書作成		ファッションショー企画書作成		
3	ショー企画書作成		ファッションショー企画書作成		
4	ショー企画書作成 プレゼン指導		ファッションショー企画書作成 プレゼンテーションコツ		
5	ショー企画書プレゼンテーション審査		クラス内プレゼンテーション審査		
6	ショースタイリング・映像作成		スタイリング制作		
7	ファッションショーフィッティング①		モデルに衣裳フィッティング		
8	ファッションショーフィッティング②		モデルに衣裳フィッティング		
9	演出プラン・メイクプラン作成1		演習メイクプラン企画		
10	演出プラン・メイクプラン作成2		演習メイクプラン企画		
11	リメイクスタイリング作成		ショーのリメイクスタイリング制作		
12	リメイクスタイリング作成		ショーのリメイクスタイリング制作		
13	リメイクスタイリング作成		ショーのリメイクスタイリング制作		
14	ショー用撮影1		ファッションショーのスタイリングを撮影		
15	ショー用撮影2		ファッションショーのスタイリングを撮影		
16	ショー用撮影3		ファッションショーのスタイリングを撮影		
17	メイク練習・ウォーキング演出映像など作成		ショーのメイク練習・映像など作成		
18	メイク練習・ウォーキング演出映像など作成		ショーのメイク練習・映像など作成		
19	メイク練習・ウォーキング演出映像など作成		ショーのメイク練習・映像など作成		
20	最終リハーサル		ショーの衣裳を着たスタイリングリハーサル		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題90%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			課題評価を行う。スタイリング力、企画力を養う		
実務経験教員の経歴	スタイリスト歴15年				

科目名	メイクテクニックⅡ				
担当教員	阿部 見奈子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションスタイリスト科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1 顔の骨格の仕組みを修得 2 トレース技術を修得 3 メイクテクニックⅠの知識を基礎に技術力を上げる。				
学習目標 (到達目標)	1.骨格を理解し、立体的にメイクを表現できる。2.テーマに合わせたトレース、メイクを考え、表現し、施術できる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	配布資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	顔のパーツバランス、骨格と立体1		ワークシート作成、メイクテクニックⅠ技術チェック		
2	顔のパーツバランス、骨格と立体1		ワークシート作成、メイクテクニックⅠ技術チェック		
3	骨格と立体2		ワークシート作成		
4	骨格と立体3		春夏秋冬の色彩を意識しワークシート作成		
5	骨格と立体3		春夏秋冬の色彩を意識しワークシート作成		
6	基礎技術 着物メイク1		着物の柄に合わせたヘアメイクを立案		
7	基礎技術 着物メイク1		着物の柄に合わせたヘアメイクを立案		
8	基礎技術 着物メイク2		相モデルで時間内に作成し、ワークシート提出		
9	基礎技術 着物メイク3		相モデルで時間内に作成し、ワークシート提出		
10	基礎技術 ウエディングメイク1		ウエディングドレスに合わせたヘアメイク立案		
11	基礎技術 ウエディングメイク1		ウエディングドレスに合わせたヘアメイク立案		
12	基礎技術 ウエディングメイク2		相モデルで時間内に作成し、ワークシート提出		
13	基礎技術 ウエディングメイク3		相モデルで時間内に作成し、ワークシート提出		
14	基礎技術 年代別メイク1		50年代～80年代の時代背景、メイクを調べ立案		
15	基礎技術 年代別メイク1		50年代～80年代の時代背景、メイクを調べ立案		
16	基礎技術 年代別メイク2		相モデルで時間内に作成し、ワークシート提出		
17	基礎技術 年代別メイク3		相モデルで時間内に作成し、ワークシート提出		
18	基礎技術 動物メイク1		動物の顔、特徴(色、柄)を観察し現代風に立案		
19	基礎技術 動物メイク2		相モデルで時間内に作成し、ワークシート提出		
20	基礎技術 動物メイク3		相モデルで時間内に作成し、ワークシート提出		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実習60%、ワークシート30%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			メイクテクニックⅠで学んだ事をしっかりと意識し、実習に臨むこと。全ての実習項目に出席し、全てのワークシートを提出すること。		
実務経験教員の経歴	ビューティーアドバイザーとして美容現場に7年間係っていた				

科目名	メイクテクニックⅡ				
担当教員	阿部 見奈子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションスタイリスト科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1 色々なメイクの応用力をあげる。 2 メイクセラピーを理解する。				
学習目標 (到達目標)	1.テーマに合わせたトレース、メイクを考え表現し、施術できる。2.メイクセラピー検定合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	メイクセラピー入門(3級対策)、配布資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	基礎技術 特殊メイク		ゼラチン、絵の具でアザ、やけど作成		
2	基礎技術 特殊メイク		ゼラチン、絵の具でアザ、やけど作成		
3	メイクセラピー検定対策		指定教科書P4~17		
4	メイクセラピー検定対策		指定教科書P18~25		
5	メイクセラピー検定対策		指定教科書P26~33		
6	メイクセラピー検定対策		指定教科書P34~43		
7	メイクセラピー検定対策		指定教科書P44~54		
8	メイクセラピー検定対策		過去問題と答え合わせ		
9	メイクセラピー検定対策		過去問題と答え合わせ		
10	メイクセラピー検定対策		過去問題と答え合わせ		
11	メイクセラピー検定対策		過去問題と答え合わせ		
12	基礎技術 色メイク1		その色が持つイメージをヘアメイク立案		
13	基礎技術 色メイク1		その色が持つイメージをヘアメイク立案		
14	基礎技術 色メイク2		相モデルで時間内に作成し、ワークシート提出		
15	基礎技術 色メイク3		相モデルで時間内に作成し、ワークシート提出		
16	基礎技術 自由課題1		学んだ技術を定着させ、好きなテーマでのメイク立案		
17	基礎技術 自由課題2		相モデルで時間内に作成し、ワークシート提出		
18	基礎技術 自由課題3		相モデルで時間内に作成し、ワークシート提出		
19	基礎技術 自由課題4		相モデルで時間内に作成し、ワークシート提出		
20	基礎技術 自由課題5		相モデルで時間内に作成し、ワークシート提出		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実習60%、ワークシート30%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			学んだ事をしっかりと意識して実習に臨むこと。全ての実習項目に出席し、全てのワークシートを提出すること。		
実務経験教員の経歴	ビューティーアドバイザーとして美容現場に7年間係っていた				

科目名	コマーシャルフォト				
担当教員	加藤 真梨		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションスタイリスト科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1. 1年生で身につけた撮影技術を基に様々な写真を撮影する。 2. 撮影した写真をフォトショップを使用し加工・編集する技術を身につける 3. 最終課題で自分の写真作品集を製作				
学習目標 (到達目標)	学生全員が写真でなにができるのか、を知る事で自分のクリエイティブ、表現の幅を広めれる事を目標とする。 また、写真を撮ると言う事で人生観が広がる事が狙いである。クリエイティブとはなにか、プロに触れる事で、本物を知る事で面白い大人に会う事で夢を見れるような授業である事とする。広告、クリエイティブには、企画力、プランニングが一番大事でそれを生み出すノウハウを学ぶ授業である。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	カメラのおさらい、撮影提出		三分割・額縁・レンズ・光など復習と撮影		
2	写真集課題①自由作品 撮影		バランスを考える。色をくすませない。三分割		
3	露出補正・シーン別の撮影方法		様々な写真のテクニックを学ぶ「露出補正・シーン」		
4	風景を上手に撮影する方法		風景の写真撮影の技術を学ぶ		
5	夜の撮影・暗い空間での撮影		暗い場所や夜景などでの撮影方法を学ぶ		
6	集合写真と画像編集		集合写真の構成や撮影後の画像編集のテクニック		
7	水平編集・トリミング加工・コントラスト・シャドウ加工①		フォトショップを使用した編集方法		
8	水平編集・トリミング加工・コントラスト・シャドウ加工②		フォトショップを使用した編集方法		
9	水平編集・トリミング加工・コントラスト・シャドウ加工③		フォトショップを使用した編集方法		
10	写真集課題②撮影「つなぐ」企画立案・構図		写真集課題「つなぐ」の企画立案・構成		
11	写真集課題②撮影「つなぐ」撮影		写真集課題「つなぐ」の撮影		
12	写真集課題③撮影「色」企画立案・構図		写真集課題「つなぐ」の企画立案・構成		
13	写真集課題③撮影「色」撮影		写真集課題「つなぐ」の撮影		
14	写真集課題④撮影「人」企画立案・構図		写真集課題「人」の企画立案・構成		
15	写真集課題④撮影「人」撮影		写真集課題「人」の撮影		
16	ファッションショー洋服撮影企画立案・構図		ファッションショーの作品広告の撮影企画立案		
17	ファッションショー洋服撮影企画立案・構図		ファッションショーの作品広告の撮影企画立案		
18	ファッションショー洋服撮影 1		ファッションショーの作品広告の撮影		
19	ファッションショー洋服撮影 2		ファッションショーの作品広告の撮影		
20	ファッションショー洋服撮影 3		ファッションショーの作品広告の撮影		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題90%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			写真撮影課題を評価し成績とする		
実務経験教員の経歴	ブライダルやファッションの現役カメラマン。現在8年経験				

科目名	コマーシャルフォト				
担当教員	加藤 真梨		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションスタイリスト科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1年生で身につけた撮影技術を基に様々な写真を撮影する。 2. 撮影した写真をフォトショップを使用し加工・編集する技術を身につける 3. 最終課題で自分の写真作品集を製作 				
学習目標 (到達目標)	学生全員が写真でなにができるのか、を知る事で自分のクリエイティブ、表現の幅を広めれる事を目標とする。 また、写真を撮ると言う事で人生観が広がる事が狙いである。クリエイティブとはなにか、プロに触れる事で、本物を知る事で面白い大人に会う事で夢を見れるような授業である事とする。広告、クリエイティブには、企画力、プランニングが一番大事でそれを生み出すノウハウを学ぶ授業である。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	値をシーンに応じて使い分ける撮影		カメラの値による撮影の違いを理解し撮影する		
2	ホワイトバランスを利用した天候別撮影方法		ホワイトバランスを変更した撮影方法を知る		
3	レイヤーを考えた撮影方法		レイヤーや構図を考え撮影する		
4	F値の変化による撮影方法		F値を変化させることで撮影イメージの変化をさせる		
5	スローシャッター1/10で撮影してみる		スローシャッターで撮影してみる。		
6	視点を変えた撮影方法 高低差をつけて撮影してみる		視点を変えた高低差を意識した撮影方法を学ぶ		
7	水平・垂直を意識して撮影してみる		写真撮影で水平・垂直を意識した撮影		
8	背景を意識し絞りを考えて撮影		背景と被写体のバランスを考え撮影してみる		
9	写真集課題④撮影「街」撮影企画・立案構成		課題「街」をテーマに撮影プラン企画書作成		
10	写真集課題④撮影「街」撮影		課題「街」をテーマに撮影		
11	写真集課題⑤撮影「風景」撮影企画・立案構成		課題「風景」をテーマに撮影プラン企画書作成		
12	写真集課題⑤撮影「風景」撮影		課題「風景」をテーマに撮影		
13	写真集課題⑥撮影「笑顔」撮影企画・立案構成		課題「笑顔」をテーマに撮影プラン企画書作成		
14	写真集課題⑥撮影「笑顔」撮影		課題「笑顔」をテーマに撮影		
15	写真集撮影の編集作業1		写真集の写真をフォトショップにて加工作業		
16	写真集撮影の編集作業2		写真集の写真をフォトショップにて加工作業		
17	写真集撮影の編集作業3		写真集の写真をフォトショップにて加工作業		
18	写真集撮影の編集作業4		写真集の写真をフォトショップにて加工作業		
19	作品集のプレゼンテーションまとめ		出来上がった写真集を基にコンセプトや写真についてプレゼンテーション		
20	作品集のプレゼンテーションまとめ		出来上がった写真集を基にコンセプトや写真についてプレゼンテーション		
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
実技課題90%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		写真撮影課題を評価し成績とする			
実務経験教員の経歴	ブライダルやファッションの現役カメラマン。現在8年経験				

科目名	ファッションリメイク				
担当教員	細貝 海登	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションプロデュース科、 ファッションスタイリスト科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用	遠隔授業		
授業概要、目的、 授業の進め方	1.基本的な縫製テクニックの習得 2.ミシン・アイロンなど道具の扱い方の習得				
学習目標 (到達目標)	縫製・採寸の基礎知識を学び、スカートの制作を通して基礎的な手縫い・ミシンの使い方を習得する				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	縫製道具一式				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	導入・手縫い基礎	まつり縫い・ボタンつけ			
2	ミシン縫い基礎	糸かけ・ミシン使い方・アイロン使い方			
3	パターン知識	名称・仕様について			
4	パターン初期演習	縫代付け・仕様記入			
5	パターン実習①	パターンカット			
6	パターン実習②	パターン縫合チェック			
7	スカート制作	生地準備			
8	スカート制作	裁断			
9	スカート制作	芯貼り			
10	スカート制作	事前アイロン			
11	スカート制作	ロックミシン練習・使い方			
12	スカート制作	パーツロックかけ			
13	スカート制作	脇縫い			
14	スカート制作	ベルト付け			
15	スカート制作	ベルト始末			
16	スカート制作	裾上げ			
17	スカート制作	付属付け			
18	仕上げ・まとめ・アイロン	仕上げアイロンかけ方			
19	発表	発表・検討会			
20	一年間の振り返り・反省	一年間の振り返り・反省			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
課題：手縫い課題20%/スカート70%/学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		全ての課題を提出すること 道具の管理・使い方は決められたルールで行うこと			
実務経験教員の経歴	お直し、リメイクショップにて勤務中				

科目名	ファッションリメイク				
担当教員	細貝 海登	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションプロデュース科、 ファッションスタイリスト科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用	遠隔授業		
授業概要、目的、 授業の進め方	1.基本的な縫製テクニックの習得 2.ミシン・アイロンなど道具の扱い方の習得 3.半袖シャツの縫い方の習得				
学習目標 (到達目標)	縫製・採寸の基礎知識を学び、シャツの制作を通して一着丸縫いできる基礎を習得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	縫製道具一式				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	パターン配布・説明	仕様・名称説明			
2	パターンワーク	パターン制作・チェック			
3	半袖シャツ制作	生地決定			
4	半袖シャツ制作	裁断・芯貼り			
5	半袖シャツ制作	前身頃パーツ縫い			
6	半袖シャツ制作	後ろ身頃パーツ縫い			
7	半袖シャツ制作	後ろ身頃パーツ縫い			
8	半袖シャツ制作	袖パーツ縫い			
9	半袖シャツ制作	衿パーツ縫い			
10	半袖シャツ制作	見頃ドッキング			
11	半袖シャツ制作	袖ドッキング			
12	半袖シャツ制作	アームホールロック			
13	半袖シャツ制作	衿ドッキング			
14	半袖シャツ制作	そで下・脇縫い			
15	半袖シャツ制作	そで下・脇 ロック			
16	半袖シャツ制作	ボタンホール			
17	半袖シャツ制作	ボタンつけ			
18	仕上げ・まとめ・アイロン	仕上げアイロンかけ方			
19	発表	発表・検討会			
20	一年間の振り返り・反省	一年間の振り返り・反省			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
課題：手縫い課題20%/半袖シャツ70%/学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		全ての課題を提出すること 道具の管理・使い方は決められたルールで行うこと			
実務経験教員の経歴	お直し、リメイクショップにて勤務中				

科目名	イラストレーターフォトショップ				
担当教員	加藤 真梨		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションスタイリスト科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1.フォトショップの基本操作方法を習得する				
学習目標 (到達目標)	フォトショップの基本的な操作方法を理解しツールを使えるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Adobe PhotoshopCC、PhotoshopCCクイックマスター☒				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	インストール		インストール作業		
2	インストール		インストール作業		
3	フォトショップとは		導入：P2～8		
4	基本操作		起動とファイル：P10～21		
5	基本操作		画面表示と色の選択：P22～31		
6	選択範囲の概念		選択ツール：P32～40		
7	選択範囲の概念		その他の選択：P41～45		
8	画像の移動と変形		解像度とサイズ：P46～52		
9	画像の移動と変形		コピー&ペースト：P53～59		
10	カラーの概念		カラーモード：P60～64		
11	カラーの概念		色調補正：P65～71		
12	ペイントツール		ペイント系のツール：P72～96		
13	ペイントツール		ペイント演習：P97		
14	レイヤー操作		レイヤー機能：P98～100		
15	レイヤー操作		レイヤー機能：P101～103		
16	レイヤー操作		レイヤー機能：P104～107		
17	レイヤー操作		レイヤー機能：P108～111		
18	テキストツール		テキストの入力と編集：P128～130		
19	テキストツール		テキストの入力と編集：P131～134		
20	テキストツール		演習P135		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
ペイントの演習50%・テキストの演習50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			課題は全て提出すること パソコン・テキストを必ず準備すること		
実務経験教員の経歴	ブライダルやファッションの現役カメラマン。現在8年経験				

科目名	イラストレーターフォトショップ				
担当教員	加藤 真梨		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションスタイリスト科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1.フォトショップの応用操作方法を習得する				
学習目標 (到達目標)	フォトショップの応用操作方法を理解しコラージュマップの作成や写真の合成ができるようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Adobe PhotoshopCC、PhotoshopCCクイックマスター☒				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	フィルターについて		フィルターの概要：P136～151		
2	画像編集・フォトタッチ		色調補正：P164～180		
3	画像編集・フォトタッチ		写真補正演習：P181		
4	ロゴデザイン		ロゴデザインについて：P182～187		
5	ロゴデザイン		ロゴデザインについて：P188～193		
6	ロゴデザイン		ロゴデザインについて：P194～198		
7	ロゴデザイン		ロゴデザイン演習：P199		
8	カード、ステーションナリデザイン		ポップ制作：P200～207		
9	カード、ステーションナリデザイン		ポップ制作：P208～215		
10	フォトコラージュ		写真の合成①：P216～221		
11	フォトコラージュ		写真の合成②：P222～227		
12	フォトコラージュ		写真の合成③：P228～233		
13	オリジナルポートフォリオ制作		課題画像加工		
14	オリジナルポートフォリオ制作		ページ構成・レイアウト		
15	オリジナルポートフォリオ制作		コラージュ・合成作成		
16	オリジナルポートフォリオ制作		テキスト・ロゴマーク配置		
17	オリジナルポートフォリオ制作		ブックにまとめ		
18	オリジナルポートフォリオ制作		ブックにまとめ		
19	オリジナルポートフォリオ制作		プレゼンテーション・提出		
20	オリジナルポートフォリオ制作		プレゼンテーション・講評		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
オリジナルポートフォリオ100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			課題は全て提出すること パソコン・テキストを必ず準備すること		
実務経験教員の経歴	ブライダルやファッションの現役カメラマン。現在8年経験				

科目名	ファッション販売能力検定対策Ⅱ(A科目)				
担当教員	金川 愁		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科、 ファッションスタイリスト科 (スタイリストプレスコース)	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.ファッション販売能力検定ⅡA科目の知識を習得 2.ファッションビジネス、ファッションマーケティング、ファッション産業、 ファッショントレンド、接客マナー、消費者行動等の理解 3.テキスト、過去問題での復習				
学習目標 (到達目標)	ファッション販売能力検定2級A科目の合格レベルの習得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ファッション販売2/ファッション販売能力検定試験問題集2級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ファッション販売知識①		教科書 p8~p9 過去問題演習		
2	ファッション販売知識②		教科書 p10~p12 過去問題演習		
3	ファッション販売知識③		教科書 p13~p14 過去問題演習		
4	ファッション販売知識④		教科書 p15~p19 過去問題演習		
5	ファッション販売技術①		教科書 p20~p24 過去問題演習		
6	ファッション販売技術②		教科書 p25~p30 過去問題演習		
7	ファッション販売技術③		教科書 p31~p35 過去問題演習		
8	ファッション販売技術④、⑤		教科書 p36~p47 過去問題演習		
9	ファッション販売技術⑥		教科書 p48~p51 過去問題演習		
10	ファッション販売技術⑦、⑧		教科書 p52~p61 過去問題演習		
11	マーケティング①		教科書 p152~p155 過去問題演習		
12	マーケティング②		教科書 p156~p160 過去問題演習		
13	マーケティング②		教科書 p161~p166 過去問題演習		
14	マーケティング③		教科書 p167~p173 過去問題演習		
15	試験対策		模擬テスト		
16	試験対策		模擬問題解答・解説		
17	試験対策		模擬テスト		
18	試験対策		模擬問題解答・解説		
19	前期試験		前期試験		
20	前期試験解答・解説		解答・解説		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験評価100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			教科書は毎時間準備すること 授業内での配布物は全て保管すること		
実務経験教員の経歴	セレクトショップにてFAを7年間、販売、VMD業務に関わっていた				

科目名	ファッション販売能力検定対策Ⅱ(A科目)				
担当教員	金川 愁	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科、 ファッションスタイリスト科 (スタイリストプレスコース)	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用	遠隔授業		
授業概要、目的、 授業の進め方	1.ファッション販売能力検定ⅡA科目の知識を習得 2.ファッションビジネス、ファッションマーケティング、ファッション産業、 ファッショントレンド、接客マナー、消費者行動等の理解 3.テキスト、過去問題での復習				
学習目標 (到達目標)	ファッション販売能力検定2級A科目の合格レベルの習得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ファッション販売2/ファッション販売能力検定試験問題集2級				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	A科目過去問題①	第43回 過去問題A科目試験形式及び解答			
2	A科目過去問題①	第43回 過去問題A科目 解説・振り返り			
3	A科目過去問題②	第42回 過去問題A科目試験形式及び解答			
4	A科目過去問題②	第42回 過去問題A科目 解説・振り返り			
5	A科目過去問題③	第41回 過去問題A科目試験形式及び解答			
6	A科目過去問題③	第41回 過去問題A科目 解説・振り返り			
7	A科目過去問題④	第40回 過去問題A科目試験形式及び解答			
8	A科目過去問題④	第40回 過去問題A科目 解説・振り返り			
9	A科目過去問題⑤	第39回 過去問題A科目試験形式及び解答			
10	A科目過去問題⑤	第39回 過去問題A科目 解説・振り返り			
11	A科目過去問題⑥	第38回 過去問題A科目試験形式及び解答			
12	A科目過去問題⑥	第38回 過去問題A科目 解説・振り返り			
13	検定対策	対策ワード解説			
14	検定本番問題の解答・解説①	検定本番問題の解答・解説・振り返り			
15	検定本番問題の解答・解説②	検定本番問題の解答・解説・振り返り			
16	試験対策	模擬問題			
17	試験対策	模擬問題解答・解説			
18	後期試験	後期試験			
19	後期試験解答・解説	解答・解説			
20	一年間のまとめ、振り返り	一年間のまとめ、振り返り			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
試験評価100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		教科書は毎時間準備すること 授業内での配布物は全て保管すること			
実務経験教員の経歴	セレクトショップにてFAを7年間、販売、VMD業務に関わっていた				

科目名	英会話				
担当教員	マッティア ラレセ		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 ブライダルコスチュームデザイン科、 ファッションプロデュース科、 ファッションスタイリスト科、 ニットデザイン科、 ファッションビジネス科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	英語でのコミュニケーション力、ファッションに関する英語力を高める。				
学習目標 (到達目標)	ファッションに関する英単語等を覚える。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	オリジナルプリント				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	紹介① 友達などの紹介のしかた		プリント1		
2	紹介② 性格と主張		プリント2		
3	紹介		ワークシート1 (紹介)		
4	単数、複数		プリント3		
5	単数、複数		ワークシート2 (単数)、会話		
6	単数、複数		ワークシート2 (複数)、会話		
7	衣服① 名称、色		プリント4		
8	衣服① 名称、色		ワークシート3 (衣服の名称)		
9	衣服① 名称、色		ワークシート4 (衣服の名称)		
10	衣服② 動詞、形容詞		プリント5		
11	衣服② 動詞、形容詞		ワークシート5 (動詞、形容詞を使って衣服を表す)		
12	衣服② 動詞、形容詞		ワークシート6 (動詞、形容詞を使って衣服を表す)		
13	衣服③ 形容詞		プリント6、会話		
14	衣服③ 形容詞		プリント7		
15	衣服③ 形容詞		プリント8		
16	衣服③ 形容詞		文章作成		
17	衣服③ 形容詞		復習、会話		
18	復習		ワークシート7		
19	復習		ワークシート8		
20	まとめ		前期まとめ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験60%、課題10%、授業態度15%、学習意欲15% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			英語の基礎を押さえながら、ファッションに関する英語の知識も押さえること。		
実務経験教員の経歴	専門学校や英会話教室で3年以上教鞭を取る				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	英会話				
担当教員	マッティア ラレセ		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 ブライダルコスチュームデザイン科、 ファッションプロデュース科、 ファッションスタイリスト科、 ニットデザイン科、 ファッションビジネス科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	英語でのコミュニケーション力、ファッションに関する英語力を高める。				
学習目標 (到達目標)	ファッションに関する英単語等を覚える。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	オリジナルプリント				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	前置詞		プリント9、リスニング		
2	前置詞		プリント9、会話		
3	前置詞		ワークシート9 (文章作成)		
4	前置詞		ワークシート10		
5	前置詞		ワークシート11 (文章作成)		
6	服のお直しのための英語		プリント10、会話		
7	服のお直しのための英語		ワークシート12		
8	服のお直しのための英語		ワークシート12 (文章作成)		
9	服を販売するときの英語		ワークシート13 (会話)		
10	服を販売するときの英語		プリント11		
11	服を販売するときの英語		ワークシート13 (文章作成)		
12	裁縫道具等の英語		プリント12		
13	裁縫道具等の英語		プリント12 (会話)		
14	裁縫道具等の英語		ワークシート14 (文章作成)		
15	復習		ワークシート15		
16	復習		ワークシート16		
17	総復習		ワークシート1~8		
18	総復習		ワークシート9~16		
19	まとめ		後期まとめ		
20	まとめ		総まとめ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験60%、課題10%、授業態度15%、学習意欲15% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			英語の基礎を押さえながら、ファッションに関する英語の知識も押さえること。		
実務経験教員の経歴	専門学校や英会話教室で3年以上教鞭を取る				

科目名	ファッション販売能力検定対策Ⅱ(B科目)				
担当教員	大澤 清孝		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科、 ファッションスタイリスト科 (スタイリストプレスコース)	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.ファッション販売能力検定ⅡB科目の知識を習得 2.ファッションビジネス、ファッションマーケティング、ファッション産業、 ファッショントレンド、商品素材知識、ビジュアルマーチャンダイジング等の理解 3.テキスト、過去問題での復習				
学習目標 (到達目標)	ファッション販売能力検定2級B科目の合格レベルの習得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ファッション販売2/ファッション販売能力検定試験問題集2級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	商品知識①		教科書 p 61～p 93 過去問題演習		
2	商品知識②		教科書 p 94～p 107 過去問題演習		
3	商品知識③		教科書 p 108～p 111 過去問題演習		
4	商品知識④		教科書 p 112～p 117 過去問題演習		
5	売り場づくり①		教科書 p 118～p 121 過去問題演習		
6	売り場づくり②		教科書 p 122～p 127 過去問題演習		
7	売り場づくり③		教科書 p 128～p 137 過去問題演習		
8	売り場づくり④、⑤、⑥		教科書 p 138～p 143 過去問題演習		
9	売り場づくり⑦、⑧、⑨		教科書 p 144～p 147 過去問題演習		
10	売り場づくり⑦、⑧、⑨		教科書 p 148～p 151 過去問題演習		
11	店舗運営管理①		教科書 p 174～p 182 過去問題演習		
12	店舗運営管理②		教科書 p 183～p 186 過去問題演習		
13	店舗運営管理③		教科書 p 187～p 189 過去問題演習		
14	店舗運営管理④		教科書 p 190～p 193 過去問題演習		
15	試験対策		模擬テスト		
16	試験対策		模擬問題解答・解説		
17	試験対策		模擬テスト		
18	試験対策		模擬問題解答・解説		
19	前期試験		前期試験		
20	前期試験解答・解説		解答・解説		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験評価100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			教科書は毎時間準備すること 授業内での配布物は全て保管すること		
実務経験教員の経歴	スタイリスト歴15年				

科目名	ファッション販売能力検定対策Ⅱ(B科目)				
担当教員	大澤 清孝		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科、 ファッションスタイリスト科 (スタイリストプレスコース)	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.ファッション販売能力検定ⅡB科目の知識を習得 2.ファッションビジネス、ファッションマーケティング、ファッション産業、 ファッショントレンド、商品素材知識、ビジュアルマーチャンダイジング等の理解 3.テキスト、過去問題での復習				
学習目標 (到達目標)	ファッション販売能力検定2級B科目の合格レベルの習得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ファッション販売2/ファッション販売能力検定試験問題集2級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	B科目過去問題①		第42回 過去問題B科目試験形式及び解答		
2	B科目過去問題①		第42回 過去問題B科目 解説・振り返り		
3	B科目過去問題②		第41回 過去問題B科目試験形式及び解答		
4	B科目過去問題②		第41回 過去問題B科目 解説・振り返り		
5	B科目過去問題③		第40回 過去問題B科目試験形式及び解答		
6	B科目過去問題③		第40回 過去問題B科目 解説・振り返り		
7	B科目過去問題④		第39回 過去問題B科目試験形式及び解答		
8	B科目過去問題④		第39回 過去問題B科目 解説・振り返り		
9	B科目過去問題⑤		第38回 過去問題B科目試験形式及び解答		
10	B科目過去問題⑤		第38回 過去問題B科目 解説・振り返り		
11	A科目過去問題⑥		第37回 過去問題B科目試験形式及び解答		
12	A科目過去問題⑥		第37回 過去問題B科目 解説・振り返り		
13	検定対策		対策ワード解説		
14	検定本番問題の解答・解説①		検定本番問題の解答・解説・振り返り		
15	検定本番問題の解答・解説②		検定本番問題の解答・解説・振り返り		
16	試験対策		模擬問題		
17	試験対策		模擬問題解答・解説		
18	後期試験		後期試験		
19	後期試験解答・解説		解答・解説		
20	一年間のまとめ、振り返り		一年間のまとめ、振り返り		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験評価100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			教科書は毎時間準備すること 授業内での配布物は全て保管すること		
実務経験教員の経歴	スタイリスト歴15年				

科目名	着付				
担当教員	風間 美代子	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションスタイリスト科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	和装着付けの基本的な知識を身に付ける。 着物の着付け、名古屋帯の結び方を習得する。				
学習目標 (到達目標)	1. 着装の準備 2. 30分で着物着付け、帯結びが出来る				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	配布資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	和服の話・取り扱い・現場でのマナー		配布プリントの説明		
2	着物・名古屋のたたみ方・セッティング・下着の付け方		実習（二人で着せ合い）和装小物・着物・帯		
3	着装前の準備・下着・補正・長襦袢・着物を着せる		実習（二人で着せ合い）和装小物・着物・帯		
4	着装前の準備・下着・補正・長襦袢・着物を着せる		実習（二人で着せ合い）和装小物・着物・帯		
5	着物を着せた後、名古屋帯のお太鼓結び		実習（二人で着せ合い）和装小物・着物・帯		
6	着物を着せた後、名古屋帯のお太鼓結び		実習（二人で着せ合い）和装小物・着物・帯		
7	着物を着せた後、名古屋帯のお太鼓結び		実習（二人で着せ合い）和装小物・着物・帯		
8	着物を着せた後、名古屋帯のお太鼓結び		実習（二人で着せ合い）和装小物・着物・帯		
9	着物を着せた後、名古屋帯のお太鼓結び		実習（二人で着せ合い）和装小物・着物・帯		
10	着物を着せた後、名古屋帯のお太鼓結び		実習（二人で着せ合い）和装小物・着物・帯		
11	浴衣の着方・着せ方・半帯の結び方		実習（自装・他装）浴衣・半巾帯		
12	浴衣の着方・着せ方・半帯の結び方		実習（自装・他装）浴衣・半巾帯		
13	着付・お太鼓結び		実習・講義・配布プリント		
14	着物、帯の種類・名称		実習・講義・配布プリント		
15	ペーパー試験		ペーパー試験		
16	ペーパー試験		ペーパー試験		
17	実技試験		着付とお太鼓結びを20分で仕上げる		
18	実技試験		着付とお太鼓結びを20分で仕上げる		
19	着付・名古屋帯で変わり結び		実習		
20	着付・名古屋帯で変わり結び		実習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
ペーパー試験30%・実技試験30%・学習意欲20%・提出プリント20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			全体の80%以上を出席し、かつ全ての課題を提出しなければならない。		
実務経験教員の経歴	着物着付け講師、花嫁和装着付け師30年				

科目名	着付				
担当教員	風間 美代子	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションスタイリスト科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1.礼装、祝い着、着物、帯の種類 2.留袖、袋帯の二重太鼓の結び方を習得する 3.花嫁衣裳の着せ方				
学習目標 (到達目標)	ミセスの第一礼装を美しく着せる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	配布資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	着物の種類、帯の種類、礼装について解説		実習（二人で着せ合い）配布プリント		
2	留袖の着せ方、袋帯の二重太鼓		実習（二人で着せ合い）配布プリント		
3	留袖の着せ方、袋帯の二重太鼓		実習（二人で着せ合い）配布プリント		
4	留袖の着せ方、袋帯の二重太鼓		実習（二人で着せ合い）配布プリント		
5	留袖の着せ方、袋帯の二重太鼓		実習（二人で着せ合い）配布プリント		
6	留袖の着せ方、袋帯の二重太鼓（袋帯の変わり結び）		実習（二人で着せ合い）配布プリント		
7	留袖の着せ方、袋帯の二重太鼓（袋帯の変わり結び）		実習（二人で着せ合い）配布プリント		
8	留袖の着せ方、袋帯の二重太鼓		実習（二人で着せ合い）配布プリント		
9	留袖の着せ方、袋帯の二重太鼓		実習（二人で着せ合い）配布プリント		
10	留袖の着せ方、袋帯の二重太鼓		実習（二人で着せ合い）配布プリント		
11	留袖、二重太鼓の仕上げ、実技試験		留袖の着付、二重太鼓を20分で仕上げる		
12	留袖、二重太鼓の仕上げ、実技試験		留袖の着付、二重太鼓を20分で仕上げる		
13	花嫁着付け、小物の説明、着せ方		配布プリント		
14	花嫁着付け、小物の説明、着せ方		実習（二人でボディーに着せる）		
15	花嫁着付け、小物の説明、着せ方		実習（二人でボディーに着せる）		
16	花嫁着付け、小物の説明、着せ方		実習（二人でボディーに着せる）		
17	花嫁着付け、小物の説明、着せ方		実習（二人でボディーに着せる）		
18	花嫁着付け、小物の説明、着せ方		実習（二人でボディーに着せる）		
19	花嫁着付け仕上げ、シルエットづくり		実習（二人でボディーに着せる）		
20	花嫁着付け仕上げ、シルエットづくり		実習（二人でボディーに着せる）		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
ペーパー試験30%・実技試験30%・学習意欲20%・提出プリント20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			全体の80%以上を出席し、かつ全ての課題を提出しなければならない。		
実務経験教員の経歴		着物着付け講師、花嫁和装着付け師30年			

科目名		就職実務 II				
担当教員		大澤 清孝		実務授業の有無	×	
対象学科		ファッションスタイリスト科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択		必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態		対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方		1、就職の面接練習 2、企業研究の方法を知る 3、エントリーシート対策				
学習目標 (到達目標)		ファッション業界の就職活動において企業研究が出来自己PR面接に活かせるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料		なし				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	自己PR文章作成 1			エントリーシート・履歴書用自己PRの作成		
2	自己PR文章作成 2			エントリーシート・履歴書用自己PRの作成		
3	自己PR文章作成 3			エントリーシート・履歴書用自己PRの作成		
4	GD対策 1			GD対策授業面接練習		
5	GD対策 2			GD対策授業面接練習		
6	GD対策 3			GD対策授業面接練習		
7	グループ面接対策 1			グループ面接実践		
8	グループ面接対策 2			グループ面接実践		
9	グループ面接対策 3			グループ面接実践		
10	グループ面接対策 4			グループ面接実践		
11	メールのマナー・添え状・お礼状など			メールでの文章作成の基本。添え状テンプレ作成		
12	企業リストアップ 1			企業研究を深め企業を絞り込む		
13	企業リストアップ 2			企業研究を深め企業を絞り込む		
14	適性検査の基本			適性検査について評価のポイント		
15	SPA対策			SPA試験対策指導		
16	社会人マナー検定対策 1			社会人常識マナー検定対策授業		
17	社会人マナー検定対策 2			社会人常識マナー検定対策授業		
18	社会人マナー検定対策 3			社会人常識マナー検定対策授業		
19	社会人マナー検定対策 4			社会人常識マナー検定対策授業		
20	社会人マナー検定対策 5			社会人常識マナー検定対策授業		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
社会人常識マナー検定模擬試験での評価 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				特になし		
実務経験教員の経歴		スタイリスト歴15年				

科目名	就職実務 II				
担当教員	大澤 清孝		実務授業の有無	×	
対象学科	ファッションスタイリスト科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1、就職の面接練習 2、企業研究の方法を知る 3、エントリーシート対策				
学習目標 (到達目標)	ファッション業界の就職活動において企業研究が出来自己PR面接に活かせるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	社会人常識マナー検定対策6		社会人常識マナー検定対策授業		
2	社会人常識マナー検定対策7		社会人常識マナー検定対策授業		
3	社会人常識マナー検定対策8		社会人常識マナー検定対策授業		
4	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
5	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
6	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
7	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
8	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
9	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
10	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
11	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
12	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
13	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
14	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
15	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
16	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
17	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
18	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
19	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
20	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
社会人常識マナー検定模擬試験での評価 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			特になし		
実務経験教員の経歴	スタイリスト歴15年				

科目名	卒業制作				
担当教員	大澤 清孝		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションスタイリスト科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1. 企業とのコラボ企画2本柱を基に企業と連携した授業で広告・スタイリングを学ぶ 2. スタイリングを活かしたショー企画を作成しファッションショー形式での発表を行う 3. 卒業制作に向けたショーのプランニングを学ぶ				
学習目標 (到達目標)	一年次で得た知識に磨きをかけ、クリエイティブなプランニング、企業向けに自分をアピールする作品作り。最新のスタイリングを学ぶ。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ショー企画について説明		ショーの企画・全体について説明		
2	ショー企画書作成		ファッションショー企画書作成		
3	ショー企画書作成		ファッションショー企画書作成		
4	ショー企画書作成 プレゼン指導		ファッションショー企画書作成 プレゼンテーションコツ		
5	ショー企画書プレゼンテーション審査		クラス内プレゼンテーション審査		
6	ショースタイリング・映像作成		スタイリング制作		
7	ファッションショーフィッティング①		モデルに衣裳フィッティング		
8	ファッションショーフィッティング②		モデルに衣裳フィッティング		
9	演出プラン・メイクプラン作成1		演習メイクプラン企画		
10	演出プラン・メイクプラン作成2		演習メイクプラン企画		
11	リメイクスタイリング作成		ショーのリメイクスタイリング制作		
12	リメイクスタイリング作成		ショーのリメイクスタイリング制作		
13	リメイクスタイリング作成		ショーのリメイクスタイリング制作		
14	ショー用撮影1		ファッションショーのスタイリングを撮影		
15	ショー用撮影2		ファッションショーのスタイリングを撮影		
16	ショー用撮影3		ファッションショーのスタイリングを撮影		
17	メイク練習・ウォーキング演出映像など作成		ショーのメイク練習・映像など作成		
18	メイク練習・ウォーキング演出映像など作成		ショーのメイク練習・映像など作成		
19	メイク練習・ウォーキング演出映像など作成		ショーのメイク練習・映像など作成		
20	最終リハーサル		ショーの衣裳を着たスタイリングリハーサル		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題90%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			課題評価を行う。スタイリング力、企画力を養う		
実務経験教員の経歴		スタイリスト歴15年			

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	卒業制作				
担当教員	大澤 清孝		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションスタイリスト科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1. 企業とのコラボ企画2本柱を基に企業と連携した授業で広告・スタイリングを学ぶ 2. スタイリングを活かしたショー企画を作成しファッションショー形式での発表を行う 3. 卒業制作に向けたショーのプランニングを学ぶ				
学習目標 (到達目標)	一年次で得た知識に磨きをかけ、クリエイティブなプランニング、企業向けに自分をアピールする作品作り。最新のスタイリングを学ぶ。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ショー企画について説明		ショーの企画・全体について説明		
2	ショー企画書作成		ファッションショー企画書作成		
3	ショー企画書作成		ファッションショー企画書作成		
4	ショー企画書作成 プレゼン指導		ファッションショー企画書作成 プレゼンテーションコツ		
5	ショー企画書プレゼンテーション審査		クラス内プレゼンテーション審査		
6	ショースタイリング・映像作成		スタイリング制作		
7	ファッションショーフィッティング①		モデルに衣裳フィッティング		
8	ファッションショーフィッティング②		モデルに衣裳フィッティング		
9	演出プラン・メイクプラン作成1		演習メイクプラン企画		
10	演出プラン・メイクプラン作成2		演習メイクプラン企画		
11	リメイクスタイリング作成		ショーのリメイクスタイリング制作		
12	リメイクスタイリング作成		ショーのリメイクスタイリング制作		
13	リメイクスタイリング作成		ショーのリメイクスタイリング制作		
14	ショー用撮影1		ファッションショーのスタイリングを撮影		
15	ショー用撮影2		ファッションショーのスタイリングを撮影		
16	ショー用撮影3		ファッションショーのスタイリングを撮影		
17	メイク練習・ウォーキング演出映像など作成		ショーのメイク練習・映像など作成		
18	メイク練習・ウォーキング演出映像など作成		ショーのメイク練習・映像など作成		
19	メイク練習・ウォーキング演出映像など作成		ショーのメイク練習・映像など作成		
20	最終リハーサル		ショーの衣裳を着たスタイリングリハーサル		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題90%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			課題評価を行う。スタイリング力、企画力を養う		
実務経験教員の経歴	スタイリスト歴15年				